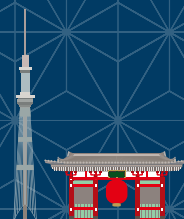


あさのは

医療法人社団哺育会 浅草病院
院外広報誌



Vol.5
2021.02

麻の葉（あさのは）文様とは、古来より日本にある、成長・健康を願う模様です



特集

糖尿病内科・検査科

トピックス

無料送迎バス運行開始！

2月1日入職医師紹介

脊椎外科部長 中嶋 祐作 医師 整形外科 市川 頼子 医師

糖尿病内科

糖尿病の早期治療を

わが国では糖尿病患者と予備軍が約2000万人もいるといわれています。また台東区総合健康診査結果では、40～75歳未満の区民のうち、糖尿病予備群の可能性のある人が4割を超えると推計されています。

最近は高齢の糖尿病が増加していることや、糖尿病と言われていても治療を受けていない人が多いことも注目されています。

糖尿病の合併症予防には早期発見・早期治療が重要です。正しい知識をもって糖尿病治療に取り組むためにも、糖尿病教育入院をご活用ください。



糖尿病チーム

糖尿病内科の特長

1840kcal（23単位）

	表1	表2	表3	表4	表5	表6	調味料
	穀物、いも豆など	くだもの	魚介、大豆、チーズ、肉	牛乳など	油脂、多脂性食品など	野菜、海藻、きのこ、こんにゃく	みそ、みりん、砂糖など
朝食⇒	4		1			0.4	
昼食⇒	4		2		1.5	0.4	0.8
夕食⇒	4	1	2	1.5		0.4	
間食⇒							
合計⇒	12	1	5	1.5	1.5	1.2	0.8

1 単 位 の 目 安	50g (4割増の半分) 80g (1/3量) 110g (1/5量)	150g 200g 100g 150g	60g (脂身を除く) 40g 20g 50g	120ml (1.5単位は180ml) 120g (全脂無糖) 120g (1/3量)	10g (大さじ1) 20g (脂身の多い肉) 40g (1/3量)	いろいろな量を合わせて300g 1.5単位は手のひら3割分 20g (大さじ2) 40g (大さじ3) 35g (大さじ2.5)	20g (大さじ2) 40g (大さじ3)
----------------------------	---	------------------------------	----------------------------------	---	--	--	--------------------------

医療法人社団福音会 浅草病院 栄養科

栄養指導パンフレット



運動療法



栄養指導



外来診察室



自己血糖測定器

当院の糖尿病教育入院

浅草病院糖尿病内科では2020年度から常勤医入職に伴い、多職種から成る糖尿病チームを立ち上げ、糖尿病教育入院をスタートしました。

各種精密検査で糖尿病の状態をチェックし、食事・運動療法の実践、多職種による糖尿病自己管理に必要な知識の習得を目標としています。

14日間入院が基本ですが、患者様のご都合に合わせて7~13日間の入院にも対応いたします。

多職種による患者サポート

教育入院では、病院食や栄養指導を通して食事療法を実践・学習できます。「自炊ができない」「仕事の時間が不規則」など、患者様の生活環境に応じた食事療法を提案します。

また、有酸素運動やレジスタンス運動(筋肉トレーニング)など、個人個人に合った運動療法を週末も含めて行うことができます。

薬物療法を正しくできるように、服薬管理指導や、必要な方には自己注射手技の指導を行います。

医師だけでなく、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、作業療法士、臨床検査技師、医療事務員の多職種から指導・支援を通して、患者様はこれまでの生活を振り返り、今後の自己管理目標を立てていきます。

外来でのインスリン導入

「血糖値は非常に高いけれども、入院はどうしても出来ない」という方には外来でのインスリン自己注射導入も可能です。食事・運動療法、自己血糖測定を組み合わせることで数ヶ月～半年程で内服薬へ変更がで

きる患者様もいます。

また適応のある患者様に対して持続自己血糖測定器「Free Style リブレ」の取り扱いも始めました。



自己注射説明

●常勤医師……田村愛(たむらあい)

学歴：2011年 新潟大学医学部卒

2019年 千葉大学大学院卒

学位：医学博士

専門医・認定医等：日本内科学会認定内科医、日本糖尿病学会糖尿病専門医、日本内分泌学会内分泌代謝科専門医、日本医師会認定産業医

●非常勤医師…中島健一(なかじまけんいち)

検査科

検査科の紹介

私たち検査科は、臨床検査技師9名のスタッフで、正確で迅速な検査を目指し、24時間365日取り組んでいます。スタッフの中には超音波認定技師が2名在籍しており、各種認定資格の取得にも励んでいます。また、標準化(検査方法・技術の統一)にも積極的に取り組むことで、他施設との互換性を保ちながら、様々な検査項目を取り扱っており、質の良い医療を提供する為、日々研鑽を積んでいます。糖尿病の診療に必要な、血糖値やヘモグロビン A1cの測定も行っており、概ね30分で結果が出ます。

糖尿病の検査

血糖値とHbA1c (ヘモグロビン・エーワンシー)

糖尿病は自覚症状が少なく、痛みなどはないので気づかない間に病気が進行してしまいます。症状がひどくなった時には、すでに合併症になっていることもあります。そのようなことのないよう、定期的に検査で確認することが大切です。

具体的には、血液検査で、血糖値やHbA1c (ヘモグロビン・エーワンシー)などを測って、確認します。血糖値は、検査したその時の、血糖の濃度を表します。HbA1cは、過去1~2か月間の平均的な血糖値を反映します。

日常生活や症状を医師が知るための大切な指標で、糖尿病の診断の際や、血糖値の管理が良好であるかの判断には欠かせない検査となっています。

当検査室では、栄研化学自動分析計 HLC-723G11を用いて、HbA1cの測定を行っています。

超音波検査

超音波検査は、人間の耳に聞こえないほど高い周波数の超音波を利用して、体内の臓器の形や動きなどを

見る検査です。安全性の高い検査ですので、妊娠中の方でも検査できます。

当院では、超音波認定技師により超音波検査を実施しております。

血糖コントロールがうまくいっていないと、合併症が発症したり、進行したりすることがあります。高血糖は、血管がかたくなったり、狭くなったりする、「動脈硬化症」を進める原因にもなります。

糖尿病の診断となった場合や、脂質異常症のある患者様について、頸動脈超音波検査を行い動脈硬化がないかを確認します。

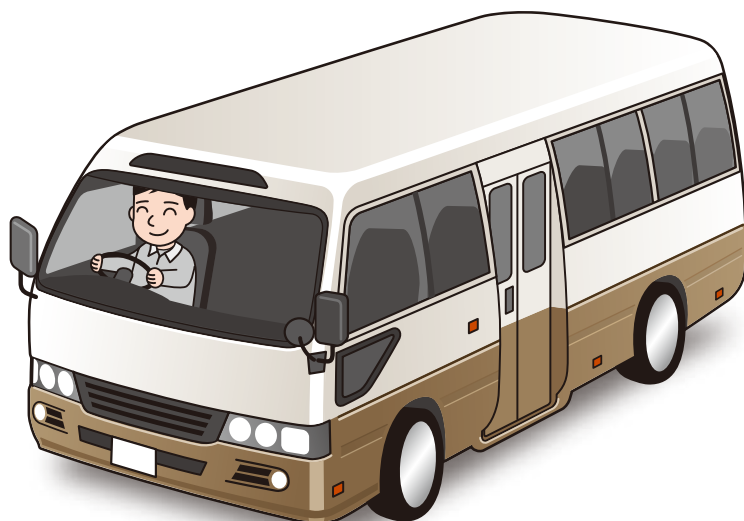
頸動脈の動脈硬化は、心臓や脳などの、血管の動脈硬化と関係があり、頸動脈超音波検査にて動脈硬化があった場合は、心臓病(心筋梗塞・狭心症)や脳卒中(脳梗塞・脳出血)などの原因がある可能性があります。

腹部超音波検査では、各臓器の腫瘍の有無をはじめとして、結石、脂肪肝、慢性肝障害、膵炎等、糖尿病や高脂血症などの生活習慣病に関連が強い所見も発見できます。

糖尿病をはじめとした生活習慣病には、さまざまな合併症がありますが、糖尿病により各種臓器の変化に対する自覚症状が薄れ、知らぬ間に進行しているということもあります。このような変化を早期に発見するため、定期的に検査を行う必要があります。



無料! 2月、 送迎バス 運行開始!



2月1日より無料シャトルバス(送迎)を運行開始いたします。浅草病院⇄浅草駅、浅草病院⇄南千住駅を約20分間隔で運行していますので是非ご利用ください。

詳細につきましては、当院ホームページまたは受付にご用意しておりますので、お声掛けください。

※浅草病院到着口は正面玄関前になります。

※浅草病院 **出発口は地下1階** 駐車場になります。

東武【浅草】駅 往復便



<月曜日～金曜日>

浅草病院 発	時	浅草駅北口 発
30 50	7	40
10 40	8	00 20 50
00 20	9	10 30
10 30 50	10	20 40
20 40	11	00 30 50
00 30 50	12	10 40
10	13	00 20
30 50	14	40
10 40	15	00 20 50
00 50	16	10
10 30	17	00 20 40
00 20	18	10 30

<土曜日>

浅草病院 発	時	浅草駅北口 発
50	7	40
10 40	8	00 20 50
00 20 40	9	10 30 50
10 30 50	10	20 40
20 40	11	00 30 50
00 30 50	12	10 40
10	13	20

【南千住】駅 往復便



<月曜日～金曜日>

浅草病院 発	時	南千住駅東口 発
30 50	7	40
10 40	8	00 20 50
00 20	9	10 30
10 30 50	10	20 40
20 40	11	00 30 50
00 30 50	12	10 40
10	13	00 20
30 50	14	40
10 40	15	00 20 50
00 50	16	10
10 30	17	00 20 40
00 20	18	10 30

<土曜日>

浅草病院 発	時	南千住駅東口 発
50	7	40
10 40	8	00 20 50
00 20 40	9	10 30 50
10 30 50	10	20 40
20 40	11	00 30 50
00 30 50	12	10 40
10	13	20

2月1日 入職医師紹介

脊椎外科部長

なかしま
中嶋
祐作
ゆうさく
医師



今年2月より当院に赴任致しました、中嶋 祐作と申します。

整形外科の特に脊椎を専門に担当しております。

主な脊椎の対象疾患は外傷や骨粗鬆症による脊椎圧迫骨折、脊髄損傷、変形性脊椎症、椎間板ヘルニア、頸椎症性脊髄症・神経根症、腰痛症、腰椎分離症・すべり症、腰部脊柱管狭窄症、腰椎変性側弯症、後縦靱帯・黄色靱帯骨化症、脊椎・脊髄腫瘍などです。

神経組織は完全に障害されると回復が困難または不能となるため、強い症状や神経障害・麻痺がある場合

学 歴 1995年 日本医科大医学部卒

所属学会 日本整形外科学会

専門医・認定医 等

日本整形外科学会 整形外科専門医

日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医

日本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科指導医

専門分野 脊椎外科

は適切な診断・手術を含めた治療が必要になります。特に、常時しびれ・痛みを自覚する、ボタンかけや箸が使いづらい(巧緻運動障害)、数百m以下の歩行で休まずにはいられなくなる(間欠性跛行)、起き上がる際などに電撃痛が走る、頻尿・乏尿・失禁等(膀胱障害)がある場合などは注意が必要で、後遺症をなるべく残さないためにも脊椎専門医に受診されることをお勧め致します。

人口の急速な高齢化に伴い、健康的に日常生活動作(ADL)を維持するうえで整形外科の負う責務は益々高まってきております。今後一層の努力をして、地域医療に貢献したいと考えております。

ホームページ



<https://asakusaspine.web.fc2.com/index.html>

整形外科

いちかわ
市川
頼子
よりこ
医師



2月より浅草病院入職しました整形外科 市川頼子と申します。

これまでは、千葉県及び埼玉県の大学病院救命センターと一般整形外科に勤務し、主に整形外傷手術に携わってきました。救命センターでは、救急外来や集中治療室のほか、ドクターヘリなどのプレホスピタル業

務などに従事していました。よくあるテレビドラマにあるように体力的にも精神的にも厳しい勤務も多々ありましたが、幸運なことに信頼できる上司・同僚やチームメンバーに恵まれていましたので、大変有意義な時間を過ごすことができたと思っています。

今後は整形外科を専門とし、より広く深く患者様の診療に当たれるよう自身が成長していきたいと思っています。また患者様やそのご家族と信頼関係を築けるよう努力していく次第です。実際にお会いしたときや診察時には、遠慮なく要望や相談など言っていただければと思います。よろしくお願いいたします。

学 歴 2012年 富山大学医学部卒

所属学会 日本救急医学会

日本整形外科学会

専門医 日本救急医学会 救急科専門医

専門分野 整形一般

救急救命

